

実践アンケートの結果

* 体力向上実践校（18校）及び体育専科教員活用モデル校（6校）の24校対象

（１）～（４）に関する４つ選択肢

- 1：十分取り組んでいる 2：概ね取り組んでいる
3：あまり取り組めていない 4：全く取り組めていない

（５）～（７）に関する４つ選択肢

- 1：十分に効果あり 2：概ね効果あり
3：あまり効果なし 4：全く効果なし

*（７）の④は「概ね効果がみられた」と回答した学校数及び割合

* 網掛け部分は、実践の成果が顕著にみられた項目（16校以上が効果を実感しているもの）

アンケート項目		集計結果（数値：校数及び割合）				
		十分	概ね	あまり	まったく	
（１） 新体力テストの実施とその活用	① 実施計画の作成に活用できましたか。	7	17	0	0	
			100.0%	0.0%		
	② 児童生徒の関心・意欲の向上等に活用できましたか。	10	12	2	0	
（２） 生活習慣等調査の実施とその活用	① 実施計画の作成に活用できましたか。	9	12	3	0	
			87.5%	12.5%		
	② 児童生徒の関心・意欲の向上等に活用できましたか。	6	15	3	0	
（３） 推進体制の整備及び実施計画の作成	① 組織的な推進体制を整備できましたか。	2	12	8	2	
			58.3%	41.7%		
	② 運動の日常化につながる取組の実施計画を作成できましたか。	13	10	1	0	
（４） 計画に基づいた実践	① 体育環境を整備することができましたか。	13	10	1	0	
			95.8%	4.2%		
	② 望ましい生活習慣の確立につながる取組の実施計画を作成できましたか。	6	10	8	0	
（５） 取組の成果 （教師の変容）	① 体力の向上に対する意識の向上が図られましたか。	11	11	2	0	
			91.7%	8.3%		
	② 体力の向上を図る指導の工夫改善ができましたか。	18	6	0	0	
			100.0%	0.0%		
	③ 特別活動等を充実させることができましたか。	9	13	2	0	
（６） 取組の成果 （保護者の変容）	① 体力の向上に対する意識の向上が図られましたか。	9	13	2	0	
			91.7%	8.3%		
	② 家庭と連携した取組を充実させることができましたか。	3	16	5	0	
			79.2%	20.8%		
	③ 地域と連携した取組を充実させることができましたか。	1	16	7	0	
（７） 取組の成果 （児童生徒の変容）	① 運動の日常化につながりましたか。（外遊びの増加）	1	16	7	0	
			70.8%	29.2%		
	② 望ましい生活習慣の確立につながりましたか。	14	8	2	0	
			91.7%	8.3%		
	③ 体力の向上は図られましたか。	13	11	0	0	
			100.0%	0.0%		
	④	ア 身体を操作する能力の向上（怪我の減少）	3	11	10	0
				58.3%	41.7%	
		イ 欠席や病気（風邪等）の減少	2	9	13	0
				45.8%	54.2%	
ウ 生活習慣病や肥満傾向の減少		12	10	2	0	
		91.7%	8.3%			
エ 意欲や気力の向上		3	16	5	0	
		79.2%	20.8%			
④	オ 給食残滓率の減少	9	14	1	0	
			95.8%	4.2%		
	カ よりよい交友関係の構築	16	66.7%	〈その他〉 ・遊びのルールの広がり ・教え合い、学び合いの姿勢 ・体力への関心の高まり ・授業規律の確立		
キ 教科学力の向上	7	29.2%				
ク その他（ ）	5	20.8%				
	4	16.7%				

実践事例のまとめ

体育環境の整備

体育施設・用具の整備、体力コーナーの設置や校内掲示による意識化等、運動意欲をかき立てる環境づくりが行われています。特に、自作のジャンピングボードやペンキで色分けした登り棒や雲梯、防球ネットに設置したボールを当てる的など、限られた環境を最大限に活用する工夫が随所に見られました。

体育授業の充実

体育専科教員活用モデル校では、特に、体力の向上をめざした取組を独自に計画し、子どもの発達の段階や運動の系統性を踏まえ、動きや技能の習得をねらいとした授業実践が行われ、運動好きな子どもの育成に絶大な成果を残しています。また、新体力テストの結果を分析し、ねらいを明確にした授業の実践も行われており、運動意欲を高めるために、運動遊びの要素を多く取り入れた授業や、学習カードや個人ファイルを活用して子どもの自発性を高める工夫も多く見られました。

体育専科教員の活用効果は、子どもだけにとどまらず、教職員の実技指導力の向上、さらには、明るく元気な学校づくりにつながっています。

特別活動等の充実

子どもの実態に応じた活動内容や活動規模（全校・学年・学級）を工夫し、限られた時間を有効に活用して、子どもの運動時間を確保し、楽しく継続していく仕掛けをつくって実践しています。

体育的行事を日常の継続的な取組の成果を発表する場として位置づけ、縦割り班等での集団活動を意図的に計画し、運動の習慣化や子ども同士のつながりを深める活動として実施しています。また、始業前や休憩時間を意図的な活動時間として位置づけ、朝のストレッチや中休みのサーキットタイムなど、限られた時間の中で、子どもの積極的な身体活動を促進しています。

保健指導や保健集会等を通じて、調和のとれた食事や十分な休養・睡眠等の基本的な生活習慣の改善に向けた取組も多く見られました。

家庭と連携した取組の充実

保護者を対象とした食育講演会や親子料理教室の実施、生活習慣に関する家庭への啓発用プリントの配布など、家庭を巻き込んだ運動・食事・睡眠等の生活習慣全般の向上を図る取組が数多く見られました。

地域と連携した取組の充実

小学校の体育授業や中学校の運動部活動で地域の人材を活用した取組が大きな成果を残しています。地域との連携は、放課後や休日の活用を可能とし、日頃からの体力づくりの場の保障、さらには、スポーツクラブや部活動に所属していない子どもへの運動機会の提供につながることから、より一層の連携が望まれます。

指定校では、体育環境の整備をはじめ、施設の有効活用、手づくりの用具や補助具の活用等により、元気でたくましい大分っ子の育成に向け、日々実践が重ねられています。アンケート結果を見ても、実践を重ねれば確実な成果が得られ、その成果は、体力の向上にとどまらず、外で遊ぶ子どもの増加、運動意欲や技能の向上、よりよい交友関係の構築、給食の食べ残しの減少等にも好影響を及ぼしています。

体力は、人間の発達・成長を支えるとともに、気力の源であり、「生きる力」の基盤となるものですから、子どもの健康・体力づくりに真摯に取り組む学校が増えれば、子どもの笑顔が増え、大人の喜びも増し、元気でたくましい大分っ子は確実に増えると考えます。

より多くの学校及び関係機関が、ここに盛り込まれている有益な情報を参考にし、元気でたくましい大分っ子の育成の一助としていただければ幸いです。